

調査報告書

- 1 とき：2012年6月15日
- 2 行先：名古屋市工業研究所
- 3 参加者：さはしあこ、政務調査補助員（浜田）
- 4 主な内容
 - ・ 外部評価対象事業となった工業研究所の視察調査を行った。
 - ・ 工業研究所は、政令市では他に大阪、京都、横浜、広島が持っている。
 - ・ 主な目的は中小企業をサポートすること。
 - ・ 非常に専門的で先進高度な技術を持ち、中小企業の相談、共同開発、講習、人材育成などを行っている。
 - ・ 今のパソコンのソフトは何百万、何千万もする高価格で、しかもソフトを使いこなすのには高度で専門的な技術と知識が必要。中小企業の方が導入するのは難しいが、工業研究所のソフトを使って試作することで、どんなことが出来るのか、本当に役立つのかを判断できる。また導入後のサポートもしている。
 - ・ 中小企業にとっての役割は大きい。
 - ・ 外部評価の主な論点が「政令市で他に4市しかない施設だから必要であるのか検討する」となっているが、だからこそ大切にすべきではないのか。
 - ・ せっかくの良い施設だが、中小企業の方から「敷居が高い」とのご意見もある。 広報は、もっと工夫すべきだ。